

令和 5 年度 国語科 第 2 学年 学習指導・評価計画

1 年間のねらい

- ・社会生活に必要な国語について、その特質を理解して適切に使うことができるようにする。
- ・社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。
- ・言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

2 指定教科書

国 語	2 年	教科書名（出版社）	現代の国語 2（三省堂）中学書写一・二・三年（光村図書）
		副教材	学習漢字ノート二年（浜島書店） 学習の達成（新学社）楽しく学ぼう！ すらすら基本文法（浜島書店）

3 学習到達目標

- ・社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付ける。
- ・我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。
- ・筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養う。
- ・日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを確かなものとできるようにする。
- ・言葉がもつ価値に気付くとともに、進んで読書し、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

4 学習の進め方

○主な授業の進め方

- ・教科書の單元ごとに学習内容と到達目標を提示し、また各時間の学習内容をつねに意識させる。
- ・一斉の学習、グループでの学習、個別の学習を学習内容及び到達目標に合わせて適切に設定して進める
- ・前項の内容を達成するために、ワークシート、副教材を適切に利用する。
- ・さまざまな場面での対話と活用していく。

○思考力・判断力・表現力の育成

- ・正確に内容を読み取る力、聞き取る力を高める。また、それらをもとに自己の考えを整理する能力を高める。
- ・相手に正確に伝わるかを意識しながら、書いたり、話したりする能力を高める。
- ・自分の考え言葉や文章にして発表する。また、他の意見や文章を読み、講習する機会を設ける。

【望ましい家庭学習】

国語の力は、授業だけではなく、日常生活の中でも養われる。日頃から読書をしたり、新聞を読んだり、家族や友人と会話をする中で、使える言葉の数を増やす。また、読んだことや聞いたことについて、「なんでだろう・どうしてなのか。」など、自分で考えてみるとさらによい。漢字の学習は毎日少しずつ進めていく。また、語句、漢字、表現等の学習に e ライブラリを活用する。

5 評価計画

【評価基準】

【評定への配分】

【評定基準】

観点別学習状況の評価		学習の実現状況
A	十分満足できる	80%以上
B	おおむね満足できる	50%以上
C	努力をようする	50%未満

観点	配分
知識・技能	1
思考・判断・表現	1
主体的に学習に取り組む態度	1

評定		各評定の範囲
5	特に高い程度のもの	90%以上
4	十分満足できる	80%以上
3	おおむね満足できる	50%以上
2	努力をようする	20%以上
1	一層努力をようする	20%未満

6 補充学習・タブレットの活用

○補充学習

- ・学習の状況に応じて、必要があれば随時実施する。
- ・夏期休業中に、課題ごとに設定し実施する。

○タブレットの活用

- ・家庭学習、休業中の課題として、e ライブラリでの学習を推奨する。
- ・国語的な調べ学習（文学史、作家の略歴）において、活用を図る。

7 年間指導・評価計画

学期	学習内容(時数)・項目	評価基準(到達目標)	評価の観点と方法
1 学 期	名づけられた葉【読む(詩)】(2) ●詩のリズムを感じ取りながら音読し、表現の効果について考える。(C工) ●詩にこめられたものの見方を捉える。(Cオ)	【知・技】・類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)イ) 【思・判・表】 ①「読むこと」において、文章の構成や表現の効果について考えている。(C工) ②「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。(Cオ)	【知識・技能】 ・定期考査 ・単元テスト ・漢字テスト ・学習プリント 【思考力・判断力・表現力】 ・定期考査 ・単元テスト ・学習プリント ・発表活動等 【主体的に学習に取り組む態度】 以下の観点により、学習活動・学習プリント・発表で行う。 ・粘り強く、表現を工夫しているか。 ・学習の見通しをもって自分の考えを示そうとしているか。
	セミロングホームルーム【読む(小説)】 読み方を学ぼう① 人物設定(4) ●人物の設定の仕方を捉え、表現や構成の工夫とその効果について考える。(Cア) ●作品を読んで考えたことを共有し、自分の考えを広げたり深めたりする。(Cオ)	【知・技】・情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。(2)イ) 【思・判・表】 ①「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定の仕方などを捉えている。(Cア) ②「読むこと」において、文章の構成や表現の効果について考えている。(C工) ③「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。(Cオ)	
	言葉発見①(1) ●敬語のはたらきについて理解し、使う。(【知・技】(1)カ)	【知・技】 ①言葉には、相手の行動を促すはたらきがあることに気づいている。(1)ア) ②話し言葉と書き言葉の特徴について理解している。(1)イ) ③敬語のはたらきについて理解し、話や文章の中で使っている。(1)カ)	
	互いの考えを尊重しながら話し合いを深める【話す・聞く】(4) ●互いの立場や考えを尊重しながら話し合いを深めるための方法を理解し、活用する。(Aオ) ●相手の考えと比較しながら聞き、自分の考えをまとめる。(A工)	【知・技】・意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。(2)ア) 【思・判・表】 ①「話すこと・聞くこと」において、論理の展開などに注意して聞き、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめている。(A工) ②「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめている。(Aオ)	
	漢字を身につけよう①(1) ●常用漢字の読み・書きについて理解を深める。(【知・技】(1)ウ)	【知・技】 ①第1学年までに学習した漢字に加え、常用漢字(350字～450字)を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。(1)ウ) ②抽象的な概念を表す語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)エ)	
	読み方を学ぼう② 発展的な論の展開 じゃんけんは、なぜグー・チョキ・パーの三種類なのか(1) ●文章の構成や論理の展開の仕方を捉える。(C工) 人間は他の星に住むことができるのか【読む(説明)】(4) ●主張と例示との関係に着目して読み、内容を理解する。(Cア) ●文章を読み、構成や論理の展開とその効果について考える。(C工)	【知・技】・意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。(2)ア) 【思・判・表】 ①「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係などを捉えている。(Cア) ②「読むこと」において、観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えている。(C工)	
	手紙・メール 心をこめてわかりやすく書く【書く】(4)時間 ●相手に伝えたい事柄や気持ちを明確にして、手紙の形式をふまえて書く。(Bイ) ●内容が正しくわかりやすく伝わるように、読み手の立場に立って読み返し、文章を整える。(B工)	【知・技】・敬語のはたらきについて理解し、話や文章の中で使おうとしている。(1)カ) 【思・判・表】 ①「書くこと」において、伝えたいことがわかりやすく伝わるように、段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫している。(Bイ) ②「書くこと」において、読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめて、文章を整えている。(B工)	
	言葉発見②言葉のはたらきとコミュニケーション(1) ●言葉には、相手の行動を促すはたらきがあることに気づく。(【知・技】(1)ア)	【知・技】 ①言葉には、相手の行動を促すはたらきがあることに気づいている。(1)ア) ②話し言葉と書き言葉の特徴について理解している。(1)イ)	
	漢字を身につけよう②(1) ●常用漢字の読み・書きについて理解を深める。(【知・技】(1)ウ)	【知・技】 ①抽象的な概念を表す語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)エ)	
	短歌の世界／短歌十首【読む(解説/短歌)】 読み方を学ぼう③ 想像	【知・技】・意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。(2)ア)	

	コラム音の数え方と句切れ (3) ●短歌のリズムや表現方法などの特徴をもとに、短歌についての理解を深める。(C工) ●情景や心情を表す語句に注意して、短歌を読み味わう。(Cオ)	【思・判・表】①「読むこと」において、観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えている。(C工) ②「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。(Cオ)	
	短歌・俳句表現の仕方を工夫して豊かに表す【書く】(5) ●情景や感動が伝わるように、表現を工夫して書く。(Bウ) ●作品を読み合い、表現の工夫などについて意見を交流する。(Bオ)	【知・技】・抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)工) 【思・判・表】①「書くこと」において、根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。(Bウ)②「書くこと」において、表現の工夫とその効果などについて、読み手からの助言などをふまえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。(Bオ)	
	文法の窓 1 文法のまとめ 用言の活用 (3) ●用言の活用について理解する。【知・技】(1)オ)	【知・技】・単語の活用について理解している。(1)オ)	
	壁に残された伝言【読む(報告)】(3) ●文章の全体と部分との関係に着目して読み、内容を理解する。(Cア) ●文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりする。(Cオ)	【知・技】・抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)工) 【思・判・表】①「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係などを捉えている。(Cア)②「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。(Cオ)	
	私の読書体験生涯の友と出会う【読む】(2) ●本には、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、読書をとおして自分の考えを広げたり深めたりする。【知・技】(3)工、Cオ)	【知・技】・本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かしている。(3)工) 【思・判・表】・「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。(Cオ)	
2 学 期	一〇〇年後の水を守る【読む(評論)】読み方を学ぼう ④図表と文章 (4) ●文章と図表などを結びつけて、筆者の考えを捉える。(Cウ) ●文章を読んで理解したことと、知識や経験とを結びつけて、自分の考えを広げる。(C)	【知・技】・情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。(2)イ) 【思・判・表】①「読むこと」において、文章と図表などを結びつけ、その関係をふまえて内容を解釈している。(Cウ)②「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。(Cオ)	【知識・技能】 ・定期考査 ・単元テスト ・漢字テスト ・学習プリント 【思考力・判断力・表現力】 ・定期考査 ・単元テスト ・学習プリント ・発表活動等
	言葉発見③上位語・下位語 (1) ●上位語・下位語の関係について理解を深める。【知・技】(1)工)	【知・技】・抽象的な概念を表す語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)工) 主・進んで抽象的な概念を表す語句の量を増し、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	
	プレゼンテーション資料や機器を活用して効果的に発表する【話す・聞く】(5) ●社会生活の中から題材を探し、根拠の適切さや論理の展開などに注意して、話の構成を工夫する。(Aイ) ●話し手の意図や話の内容をわかりやすく伝えるために、資料や機器を効果的に活用して表現を工夫する。(Aウ)	【知・技】・意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。(2)ア) 【思・判・表】①「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決めている。(Aア)②「話すこと・聞くこと」において、自分の立場や考えが明確になるように、根拠の適切さや論理の展開などに注意して、話の構成を工夫している。(Aイ)③「話すこと・聞くこと」において、資料や機器を用いるなどして、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫している。(Aウ)	【主体的に学習に取り組む態度】 以下の観点により、学習活動・学習プリント・発表で行う。 ・粘り強く、表現を工夫している。 ・学習の見通しをもって自分の考えを示そうとしている。
	漢字を身につけよう④ (1) ●常用漢字の読み・書きについて理解を深める。【知・技】(1)ウ)	【知・技】①抽象的な概念を表す語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)工)	
	枕草子・徒然草【読む(古文)】(4) ●自然や人間に対する、筆者のものの見方や感じ方を捉える。(C工) ●古人の心情を現代の自分たちとの対比	【知・技】①作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しんでいる。(3)ア)②現代語訳や語注など	

の中で読み取る。(Cオ)	を手がかりに作品を読むことをとおして、古典に表れたものの見方や考え方を知っている。(3)イ) 【思・判・表】 ①「読むこと」において、観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えている。(Cエ) ②「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。(Cオ)	
表現プラザ私の「枕草子」「徒然草」 【書く】(2) ●日常生活や社会生活の中から題材を決めて、伝えたいことを明確にする。(Bア) ●読み手の立場に立って、表現の効果を考えながら文章を整える。(Bエ)	【知・技】 ・抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)エ) 【思・判・表】 ①「書くこと」において、目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決めている。(Bア) ②「書くこと」において、読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめて、文章を整えている。(Bエ)	
平家物語【読む(古文)】 読み方を学ぼう⑥ 物語の転換点 コラム あの人の歌(5) ●語句の意味に注意しながら音読し、古典のリズムを味わう。(【知・技】(3)ア) ●場面や状況を捉え、登場人物の考え方について、自分の考えをもつ。(Cイ、Cエ)	【知・技】 ①作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しんでいる。(3)ア) ②現代語訳や語注などを手がかりに作品を読むことをとおして、古典に表れたものの見方や考え方を知っている。(3)イ) 【思・判・表】 ①「読むこと」において、登場人物の言動の意味などについて考え、内容を解釈している。(Cイ) ②「読むこと」において、観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えている。(Cエ) ③「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。(Cオ)	
漢詩の世界【読む(漢文)】漢文の読み方 漢詩の形式(3) ●漢詩の表現やリズムを捉え、読みを味わう。(【知・技】(3)ア、Cエ) ●漢詩に描かれた情景を捉え、古人の心情を想像する。(【知・技】(3)イ、Cオ)	【知・技】 ①作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しんでいる。(3)ア) ②現代語訳や語注などを手がかりに作品を読むことをとおして、古典に表れたものの見方や考え方を知っている。(3)イ) 【思・判・表】 ①「読むこと」において、観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えている。(Cエ) ②「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。(Cオ)	
漢字のしくみ 1 熟語の構成・熟字訓(1) ●熟語の構成・熟字訓について理解を深める。(【知・技】(1)ウ)	【知・技】 ①抽象的な概念を表す語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)エ)	
複数の情報を関連づけて考えをまとめる 【情報】 共生社会に関するデータ【読む(図表)】 自立とは 「依存先を増やすこと」【読む(解説)】 話す・聞く…(2) 読む…(3) ●意見と根拠などの関係に注意して、互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、考えをまとめる。(【知・技】(2)ア、Aオ) ●文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりする。(Cオ)	【知・技】 ①意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。(2)ア) ②情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。(2)イ) 【思・判・表】 ①「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめている。(Aオ) ②「読むこと」において、目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得て、内容を解釈している。(Cイ) ③「読むこと」において、文章と図表などを結びつけ、その関係をふまえて内容を解釈している。(Cウ) ④「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。(Cオ)	
投稿文 情報を関連づけて根拠を明確に示す 【書く】(4) ●多様な方法で集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にする。(Bア) ●自分の意見と根拠を明確にして、説得力のある文章を書く。(【知・技】(2)ア、Bオ)	【知・技】 ・意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。(2)ア) 【思・判・表】 ①「書くこと」において、多様な方法で集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。(Bア) ②「書くこと」において、表現の工夫とその効果などについて、読み手からの助言などをふまえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。(Bオ)	

	文法の窓 2 文法のまとめ助詞・助動詞のはたらき (3) ●助詞・助動詞のはたらきや文の構成について理解する。〔【知・技】(1) オ〕	【知・技】 ・助詞や助動詞などのはたらき、文の成分の順序や照応など文の構成について理解するとともに、話や文章の構成や展開について理解を深めている。((1) オ)	
	漢字を身につけよう⑥ (1) ●常用漢字の読み・書きについて理解を深める。〔【知・技】(1) ウ〕	【知・技】 ①抽象的な概念を表す語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1) エ)	
	大阿蘇【読む(詩)】(2) ●詩の表現技法とその効果を理解し、描かれた情景を読み取る。(Cエ) ●眼前に展開する自然の姿を捉え、想像豊かに朗読する。(Cオ)	【知・技】 ・類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1) エ) 【思・判・表】 ①「読むこと」において、文章の構成や表現の効果について考えている。(Cエ) ②「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。(Cオ)	
	言葉発見④類義語・対義語、多義語(1) 時間 ●類義語・対義語、多義語について理解する。〔【知・技】(1) エ〕	【知・技】 ・類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1) エ)	
	小さな手袋【読む(小説)】 読み方を学ぼう⑥ 象徴(4) ●登場人物の人物像と相互関係を捉える。(Cア) ●主人公の言動に着目し、その意図や心情を読み深める。(Cイ)	【知・技】 ・情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。((2) イ) 【思・判・表】 ①「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定の仕方などを捉えている。(Cア) ②「読むこと」において、登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈している。(Cイ)	
	読書活動ビブリオバトル【話す・聞く】(2) ●本には、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かす。〔【知・技】(3) エ〕 ●自分の立場や考えが明確になるように、根拠の適切さや論理の展開などに注意して、話の構成を工夫する。(Aイ)	【知・技】 ①意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。((2) ア) ②本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かしている。((3) エ) 【思・判・表】 ①「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決めている。(Aア) ②「話すこと・聞くこと」において、自分の立場や考えが明確になるように、根拠の適切さや論理の展開などに注意して、話の構成を工夫している。(Aイ)	
	創作文読みたいくなるしくみを工夫する【書く】(5) ●作品の魅力や特徴が効果的に伝わるように、描写や展開など工夫して書く。(Bイ) ●作品を読み合い、表現の工夫やもとの作品の生かし方などについて意見を交流し、自分の考えを広げる。(Bオ)	【知・技】 ・抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1) エ) 【思・判・表】 ①「書くこと」において、伝えたいことがわかりやすく伝わるように、段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫している。(Bイ) ②「書くこと」において、表現の工夫とその効果などについて、読み手からの助言などをふまえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。(Bオ)	
	漢字を身につけよう⑦ (1) ●常用漢字の読み・書きについて理解を深める。〔【知・技】(1) ウ〕	【知・技】 ①抽象的な概念を表す語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1) エ)	
	3 学期 動物園でできること【読む(評論)】 読み方を学ぼう⑦ 例示(4) ●文章の全体と部分との関係や、主張と例示との関係に注意して、筆者の主張を捉える。(Cア) ●動物園に関する筆者の主張について、知識や経験と結びつけて自分の考えを深める。(Cオ)	【知・技】 ・意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。((2) ア) 【思・判・表】 ①「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係などを捉えている。(Cア) ②「読むこと」において、観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えている。(Cエ) ③「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。(Cオ)	【知識・技能】 ・定期考査 ・単元テスト ・漢字テスト ・学習プリント 【思考力・判断力・表現力】 ・定期考査 ・単元テスト ・学習プリント ・発表活動等 【主体的に学習に取り組む態度】 以下の観点により、学習活動・学習プリント・発表授業観察で行う。
	漢字のしくみ 2 熟語の読み(1) ●熟語の読みについて理解を深める。〔【知・技】(1) ウ〕	【知・技】 ①抽象的な概念を表す語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1) エ)	
	論説文構成を工夫して考えを伝える【書く】(5) ●伝えたい事柄がわかりやすく伝わるよ	【知・技】 ①意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。((2) ア) ②情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。((2) イ)	

	うに、文章の構成や展開を工夫して書く。 （Ｂイ） ●根拠の適切さや表現の効果を考えて説得力のある文章を書く。（Ｂウ）	【思・判・表】 ①「書くこと」において、伝えたいことがわかりやすく伝わるように、段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫している。（Ｂイ）②「書くこと」において、根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。（Ｂウ）	・粘り強く、表現を工夫しているか。 ・学習の見通しをもって自分の考えを示そうとしているか。
	漢字を身につけよう⑧（１） ●常用漢字の読み・書きについて理解を深める。〔知・技〕（１）ウ）	【知・技】 ①抽象的な概念を表す語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。（（１）エ）	
	走れメロス【読む（小説）】 読み方を学ぼう⑧ 心内語（５） ●人物の言動の意味を考え、人物像とその変化を捉える。（Ｃイ） ●工夫された表現に着目して、文体の特徴を捉えて読み味わう。（Ｃエ）	【知・技】 ・意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。（（２）ア） 【思・判・表】 ①「読むこと」において、登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈している。（Ｃイ）②「読むこと」において、文章の構成や表現の効果について考えている。（Ｃエ）③「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。（Ｃオ）	
	漢字を身につけよう⑨（１） ●常用漢字の読み・書きについて理解を深める。〔知・技〕（１）ウ）	【知・技】 ①抽象的な概念を表す語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。（（１）エ）	
	情報誌地域の魅力を振り返って 【話す・聞く】（３）【書く】（５） ●集めた材料を整理し、伝える内容を検討するために編集会議を開き、話し合っ て考えをまとめる。（Ａア、Ａオ） ●地域の特色などについて、取材や調査で集めた情報を、効果的な表現になるように工夫して文章にまとめる。（Ｂア、Ｂエ	【知・技】 ①意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。（（２）ア）②情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。（（２）イ） 【思・判・表】 ①「話すこと・聞くこと」において、異なる立場や考えを想定しながら集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。（Ａア）②「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめている。（Ａオ）③「書くこと」において、目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決めている。（Ｂア）④「書くこと」において、読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめて、文章を整えている。（Ｂエ）	
書写	（年間 20 時間程度）		
学 1 期・2	行書を使いこなそう（１０）	[知]行書では、速く書くために点画を省略したり筆順を変えたりすることがあることを理解している。 [技]行書の「点画の省略」「筆順の変化」を確かめながら、毛筆・硬筆で書いている。	【技能・知識】 ・授業観察 ・提出作品 【思考力・判断力・表現力】 ・提出作品
2 学期	生活に生かそう（４）	[知]便箋や封筒を書くときのきまりを理解している。 [技]これまでに学習してきた知識・技能を生かして書いている。	
	書き初め（３）	[知]書き初め用紙に書くときの姿勢や書き進め方とともに、課題文字の特徴を理解している。 [技]学習してきた技能を生かして、配列を意識して書いている。	
3 学期	書体を使い分けよう（３）	[知]読み手・目的・状況を考えて書体を選択するとよいことを理解している。	

令和 5 年度 社会科 第 2 学年 学習指導・評価計画

1 年間のねらい・到達目標

グローバル化する国際社会に主体的に生きる社会の形成者として、国際的な広い視野をもち、他国の生活や日本との繋がりを学習する。また、日本の歴史や文化に対する興味・関心を深め、主体的に自国や世界とのつながりについて、学ぶ姿勢を養う。

2 指定教科書

社会	2 年	教科書名（出版社）	未来をひらく中学歴史（教育出版）／中学生の地理（帝国書院）
		副教材	歴史資料集（新学社） 地理資料集 世界（新学社） 基礎の強化 社会 2 年（新学社）

3 学習到達目標

- ・社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追及したり解決したりする活動を通して、グローバル化する国際社会に広い視野で物事を考えられる力を養う。
- ・我が国の国土及び日本の諸地域に関して、諸地域の事象や地域的特色を理解する。
- ・我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特徴を踏まえて理解する。
- ・歴史に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特徴などを、時期や年代、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察、表現し、発信する。

4 学習の進め方

○授業の進め方

- ・単元に関連する視覚教材や映像資料、身近な話題などを活用し、学習のイメージがわくようにする。

○思考力・判断力・表現力の高め方

- ・問いや課題に対して、資料やグラフ、既習の内容を活用して考え、表現し、フィードバックを行う。
- ・自分の考えや導きだした答えを伝えたり、答えを導き出す過程で他の意見を聞いたりしながら思考を深める。

○望ましい家庭学習

歴史的分野では語句を理解することも大切だが、大きな流れをつかみながら学習すると、より理解が深まる。地理的分野では、私たちが使用する物や食料などがどこで製造されているのかなどにも視野を広げられるとよい。

5 評価計画

【評価基準】

観点別学習状況の評価		学習の実現状況
A	十分満足できる	80%以上
B	おおむね満足できる	50%以上
C	努力をようする	50%未満

【評定への配分】

観点	配分
知識・技能	1
思考・判断・表現	1
主体的に学習に取り組む態度	1

【評定基準】

評定		各評定の範囲
5	特に高い程度のもの	90%以上
4	十分満足できる	80%以上
3	おおむね満足できる	50%以上
2	努力をようする	20%以上
1	一層努力をようする	20%未満

6 補充学習・タブレットの活用

- ・地理、歴史ワークを活用し、学習内容の確認や振り返りができるようにする。
- ・地理・歴史の両分野の時事問題を調べるため、クロームブックを活用する場面を設定する。
- ・クロームブックにインストールされている e ライブラリの問題を活用し、基礎固めをする。

7 年間指導・評価計画

学期	学習内容（時数）・項目	評価規準（到達目標）	評価の観点と方法
1 学期	【地理的分野】 第 3 部 日本のさまざまな地域 第 1 章：身近な地域の調査（3） 第 2 章：世界と比べた日本の地域的特色（13） 第 3 章：日本の諸地域 九州地方（6） 中国・四国地方（5） 近畿地方（6） 中部地方（4）	○調査の手法／調査のまとめ方 ○自然環境の特色／人口の特色／資源や産業の特色／地域間の結びつきの特色／地域区分 ○九州地方（自然環境／生活／農業／工業／南西諸島） ○中国・四国地方（自然環境／生活／農業／工業／観光） ○近畿地方（自然環境／生活／工業／歴史景観／農林水産業） ○中部地方（自然環境／工業／農業／中央高地／北陸の産業） 【知識・技能】 ・地域調査を行う際の視点や方法、まとめ方を理解することができる。 ・自然環境の特色、人口の特色、資源や産業の特色、地域間の結びつき、地域区分に関する特色を理解することができる。 ・九州・中国・四国・近畿・中部の各地方の地域的特色や地域の課題を理解することができる。 【思考・判断・表現】 ・地域調査の結果などを多面的・多角的に考察し、表現することができる。 ・自然環境の特色、人口の特色、資源や産業の特色、地域間の結びつき、地域区分に関する特色を多面的・多角的に考察し、表現することができる。 ・九州・中国・四国・近畿・中部の各地方における地域的課題を多面的・多角的に考察し、表現することができる。	＜知識・技能＞ 定期考査、単元テスト、プリント ＜思考力・表現力・判断力＞ 定期考査、単元テスト、プリント ＜主体的に学習に取り組む態度＞ 提出物、レポート
2 学期	【歴史的分野】 第 4 章 近世の日本と世界（20） 第 5 章：日本の近代化と国際社会（25）	○結びつく世界との出会い（教会と「コーラン」の教え／中世からの脱却／太陽の沈まない国／戦国の世に現れた南蛮人） ○天下統一への歩み（天下統一を目ざして／近世社会への幕開け／城と茶の湯） ○幕藩体制の確立と鎖国（泰平の世の土台づくり／東南アジアに広がる日本町／開かれた窓口／身分ごとに異なる暮らし） ○経済の成長と幕政の改革（将軍のおひざもと、天下の台所／花開く町人文化／連判状にまとまる人々／繰り返される政治改革／「読み・書き・そろばん」の習い） 【知識・技能】 ・近世の日本における民衆の成長と新たな文化の形成について理解している。 【思考・判断・表現】 ・近世の日本を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現することができる。 ○近代世界の確立とアジア（王は君臨すれども統治せず／代表なくして課税なし／「世界の工場」の光とかげ／強大な国家を目ざして／国をゆるがす綿とアヘン） ○開国と幕府政治の終わり（内と外の危機／たった四はいで夜も眠れず／新たな政権を目ざして／御政事売り切れ申し候） ○明治維新と立憲国家への歩み（万機公論に決すべし／人民に上下の別なき／学問は身を立てるの財本／ザン切頭をたたいてみれば／智識を世界に求めて／民撰議院を開設せよ／憲法の条規により之を行う） ○激動する東アジアと日清・日露戦争（対等な条約を求めて／朝鮮をめぐる戦い／「眠れる獅子」に迫る列強／列強との戦い／変わりゆく東アジア） ○近代の産業と文化の発展（近代産業を支えた糸と鉄／工業化のかげで／西洋文化と伝統文化）	＜知識・技能＞ 定期考査、単元テスト、プリント ＜思考力・表現力・判断力＞ 定期考査、単元テスト、プリント ＜主体的に学習に取り組む態度＞ 提出物、レポート

		【知識・技能】 ・近代の日本における民衆の成長と新たな文化の形成について理解している。 【思考・判断・表現】 ・近代の日本を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現することができる。	
3学期	【地理的分野】 東北地方(5) 北海道地方(5) 関東地方(7)	・東北地方（自然環境／農業／漁業／観光／生活） ・北海道地方（自然環境／農業／酪農と漁業／観光） ・関東地方（自然環境／生活／都市圏／産業／工業／農業） 【知識・技能】 東北・北海道・関東の各地方の地域的特色や地域の課題を理解することができる。 【思考・判断・表現】 東北・北海道・関東の各地方における地域的課題を多面的・多角的に考察し、表現することができる。	<知識・技能> 定期考査、単元テスト、プリント <思考力・表現力・判断力> 定期考査、単元テスト、プリント <主体的に学習に取り組む態度> 提出物、レポート

令和 5 年度 数学科 第 2 学年 学習指導・評価計画

1 年間のねらい・到達目標

数量や図形などについての基礎的な概念を理解し、数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を育成する。

2 指定教科書

数学	2 年	教科書名（出版社）	これからの数学 2（数研出版）
		副教材	数学の学習ノート（正進社）

3 学習到達目標

- ・文字を用いた式と連立二元一次方程式、平面図形と性質の証明、一次関数、データの分布と確率についての基礎的な概念や原理・法則を理解し、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。【知識・技能】
- ・文字を用いて数量の関係や法則を考察する力、図形の性質や関係を論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し表・式・グラフと関連付けて考察し表現する力、複数の集団のデータの分布に着目してその傾向を比較し読み取る力、不確定な事象の起こりやすさについて考察する力を身に付ける。【思考力・判断力・表現力】
- ・数学的活動の楽しさや良さを実感し、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善し、より良く問題解決しようとする態度を身に付ける。【主体的に学習に取り組む態度】

4 学習の進め方

○授業の進め方

- ・教科書に沿って講義形式で進めていく。

○思考力・判断力・表現力の高め方

- ・問題演習の際に、周囲と教え合い活動をして自分の考えを整理する。
- ・解答の別解を考えてみる。

○望ましい家庭学習

- ・予習 教科書を読み進める、副教材やライズを解き進める。
- ・復習 授業で扱った問題をもう一度解いてみる、副教材や e ライブラリを解きなおす。

5 評価計画

【評価基準】

観点別学習状況の評価		学習の実現状況
A	十分満足できる	80%以上
B	おおむね満足できる	50%以上
C	努力をようする	50%未満

【評定への配分】

【評定基準】

観点	配分	評定		各評定の範囲
知識・技能	1			
思考・判断・表現	1	5	特に高い程度のもの	90%以上
		4	十分満足できる	80%以上
主体的に学習に取り組む態度	1	3	おおむね満足できる	50%以上
		2	努力をようする	20%以上
		1	一層努力をようする	20%未満

6 補充学習・タブレットの活用

- ・補充学習…章や単元の区切りに演習プリントを配布 定期考査前に質問教室の実施
- ・タブレットの活用…授業で扱ったスライドやプリントの資料をクラウド上に保管し、復習に活用する。
e ライブラリを活用して自己学習（発展、補充）を進める。

7 年間指導・評価計画

学期	学習内容（時数）・項目	評価規準（到達目標）	評価の観点と方法
1 学期	1 式の計算（15） ○式の計算（8） ・単項式と多項式 ・多項式の計算 ・単項式の乗法、除法 ・式の値 ○文字式の利用（5） ・文字式の利用 ・等式の変形 ○章末（2）	1 式の計算 <知識・技能> ・単項式と多項式の意味を理解し、単項式と多項式に関する基本的な計算をすることができる。 ・関係を表す式を、等式の性質などを用いて目的に合うように変形することができる。 <思考力・判断力・表現力> ・式の値を能率的に求める方法について考え、説明することができる。 ・文字式を具体的な場面で利用することができる。 ・数量の性質を文字式を用いて説明することができる。	1 式の計算 <知識・技能> ・定期考査 ・単元テスト <思考力・判断力・表現力> ・定期考査 ・単元テスト ・行動記録 ・レポート <主体的に学習に取り組む態度> ・行動記録 ・提出物 ・レポート
	2 連立方程式（16） ○連立方程式（9） ・2元1次方程式と連立方程式 ・連立方程式の解き方 ・いろいろな連立方程式の解き方 ○連立方程式の利用（5） ・連立方程式の利用 ○章末（2）	2 連立方程式 <知識・技能> ・2元1次方程式とその解の意味を理解し、加減法と代入法を用いて基本的な2元1次方程式を解くことができる。 ・連立方程式を利用して問題を解決する手順を理解している。 <思考力・判断力・表現力> ・分数や小数、$\frac{\square}{\square}$のついた方程式や$A=B=C$の方程式について、解き方の手順や式の変形の仕方を説明することができる。 ・問題を解決するために、連立方程式の利用の仕方を説明することができる。	2 連立方程式 <知識・技能> ・定期考査 ・単元テスト <思考力・判断力・表現力> ・定期考査 ・単元テスト ・行動記録 ・レポート <主体的に学習に取り組む態度> ・行動記録 ・提出物 ・レポート
	3 1次関数（18） ○1次関数（9） ・1次関数 ・1次関数の値の変化 ・1次関数のグラフ ・1次関数の式の求め方	3 1次関数 <知識・技能> ・1次関数の意味と特徴を理解し、与えられた条件から式や表、グラフに表すことができる。 ・2元1次方程式を、関数関係を表した式とみることができ、連立方程式の解が、座標平面上の2直線の交点の座標として求められることを理解している。	3 1次関数 <知識・技能> ・定期考査 ・単元テスト <思考力・判断力・表現力> ・定期考査 ・単元テスト ・行動記録
2 学期	○一次関数と方程式（4） ・2元1次方程式のグラフ ・連立方程式とグラフ ○一次関数の利用（3） ・1次関数の利用 ○章末（2）	<思考力・判断力・表現力> ・具体的な事象から1次関数の関係を見いだすことができる。 ・1次関数の特徴を表、式、グラフで捉えるとともに、それらを相互に関連付けて考察し、説明することができる。 ・平面座標上の座標や線分の長さ、面積の大きさを1次関数の考えを活用して求めることができる。 ・具体的な事象の2つの数量関係を1次関数とみなして、変化や対応の様子を考察し、予測することができる。	・レポート <主体的に学習に取り組む態度> ・行動記録 ・提出物 ・レポート
	4 図形の性質と合同（18） ○平行線と角（9） ・直線と角 ・三角形の角 ・多角形の内角と外角 ○三角形の合同（3） ・合同な図形 ・三角形の合同条件	4 図形の性質と合同 <知識・技能> ・平行線の性質や角の性質を理解し、平面図形における角の大きさや多角形の内角や外角の大きさや合計を求めることができる。 ・三角形の合同条件を理解し、合同な図形の対応する辺や角を求めることができる。 ・仮定と結論の意味を理解し、証明の意味とその手順を理解している。	4 図形の性質と合同 <知識・技能> ・定期考査 ・単元テスト <思考力・判断力・表現力> ・定期考査 ・単元テスト ・行動記録 ・レポート

令和 5 年度 理科 第 2 学年 学習指導・評価計画

1 年間のねらい・到達目標

自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成する。

2 指定教科書

理 科	2 年	教科書名（出版社）	新しい科学 2
		副教材	理科の自主学習 2 年、理科ノート 2 年、理科便覧

3 学習到達目標

- ・自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。
- ・観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
- ・自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

4 学習の進め方

○主な授業の進め方

- ・1 単位時間ごとのねらいや学習活動を明確にして進める。
- ・「単元 1」「単元 2」「単元 4」…A と「単元 3」…B を並行して進めます。A を週あたり 3 時間、B を週あたり 1 時間で進めます。

○思考力・判断力・表現力の育成方法

- ・質問について問題や課題なども含めて、自分の考え（仮の答えをもつ）ということを意識させる。
- ・レポートなど、書き方がわからない場合は、参考になるものを「まず見る」という習慣を身に付けさせる。

○望ましい家庭学習

理科の家庭学習は復習を中心に学習させる。第 2 学年の理科では、1 学年の学習内容を基礎として、発展する内容が多くあり、予習・復習を十分に行うことが望ましい。その日の授業で学習したこと、特に記号や公式を利用した計算の方法など、授業でのノートを参考に、その日のうちに見直し、学習した内容を整理することが望ましい。また復習の一環として、e ライブラリ等を活用し、何度も解く練習をすると良い。

5 評価計画

【評価基準】

【評定への配分】

【評定基準】

観点別学習状況の評価		学習の実現状況
A	十分満足できる	80%以上
B	おおむね満足できる	50%以上
C	努力をようする	50%未満

観点	配分
知識・技能	1
思考・判断・表現	1
主体的に学習に取り組む態度	1

評定		各評定の範囲
5	特に高い程度のもの	90%以上
4	十分満足できる	80%以上
3	おおむね満足できる	50%以上
2	努力をようする	20%以上
1	一層努力をようする	20%未満

6 補充学習・タブレットの活用

- ・補充学習…章や単元の区切りに演習プリントを配布 定期考査前に質問教室の実施
- ・タブレットの活用…e ライブラリを活用して自己学習（補充）を進める。

7 年間指導・評価計画

学期	学習内容（時数）・項目	評価規準（到達目標）	評価の観点と方法
1 学期	単元 1 化学変化と原子・分子 第 1 章 物質のなり立ち(8) 第 2 章 物質どうしの化学変化(8) 第 3 章 酸素がかかわる化学変化(7) 第 4 章 化学変化と物質の質量(7) 第 5 章 化学変化とその利用(5)	化学変化を原子や分子のモデルと関連づけながら、物質の分解、原子・分子についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。（知） 化学変化を原子や分子のモデルと関連づけながら、化学変化についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。（知） 化学変化を原子や分子のモデルと関連づけながら、化学変化における酸化と還元についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。（知） 化学変化を原子や分子のモデルと関連づけながら、化学変化と質量の保存、質量変化の規則性についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。（知） 化学変化を原子や分子のモデルと関連づけながら、化学変化と熱についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。（知） 物質のなり立ちについて、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、原子や分子と関連づけてその結果を分析して解釈し、化学変化における物質の変化を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。（思） 化学変化について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、原子や分子と関連づけてその結果を分析して解釈し、化学変化における物質の変化を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。（思） 化学変化について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、原子や分子と関連づけてその結果を分析して解釈し、化学変化における物質の変化を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。（思） 化学変化と物質の質量について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、原子や分子と関連づけてその結果を分析して解釈し、化学変化における物質の変化やその量的な関係を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。（思） 化学変化について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、原子や分子と関連づけてその結果を分析して解釈し、化学変化における物質の変化を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。（思）	

1 学期 2 学期	単元2 生物の体のつくりとはたらき 第1章 生物と細胞(8) 第2章 植物のからだのつくりとはたらき(4) 第3章 動物のからだのつくりとはたらき(6) 第4章 刺激と反応(5)	生物のからだのつくりとはたらきとの関係に着目しながら、生物と細胞についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。(知) 植物のからだのつくりとはたらきとの関係に着目しながら、葉・茎・根の つくりとはたらきについての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。(知) 生物と細胞について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、生物のからだのつくりとはたらきについての規則性や関係性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。(思) 植物のからだのつくりとはたらきについて、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、植物のからだのつくりとはたらきについての規則性や関係性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。(思) 植物のからだのつくりとはたらきとの関係に着目しながら、葉・茎・根の つくりとはたらきについての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。(知) 動物のからだのつくりとはたらきとの関係に着目しながら、動物が生命を維持するはたらきについての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。(知) 植物のからだのつくりとはたらきについて、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、植物のからだのつくりとはたらきについての規則性や関係性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。(思) 動物が生命を維持するはたらきについて、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、動物の体のつくりとはたらきについての規則性や関係性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。(思) 動物のからだのつくりとはたらきとの関係に着目しながら、動物が生命を維持するはたらきについての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。(知) 動物のからだのつくりとはたらきとの関係に着目しながら、刺激と反応についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。(知) 動物が生命を維持するはたらきについて、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、動物の体のつくりとはたらきについての規則性や関係性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。(思) 刺激と反応について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、動物のからだのつくりとはたらきについての規則性や関係性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。(思)	
--------------	--	---	--

3 学期	単元4 電流とその利用 第1章 静電気と放電(7) 第2章 電流の性質(16) 第3章 電流と磁界(14)	静電気と電流に関する事物・現象を日常生活や社会と関連づけながら、静電気と電流の性質についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。(知) 電流に関する事物・現象を日常生活や社会と関連づけながら、回路と電流・電圧、電流・電圧と抵抗、電気とそのエネルギーについての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。(知) 電流と磁界に関する事物・現象を日常生活や社会と関連づけながら、磁界と磁力線との関係、電流の磁気作用に関する基本的な概念を観察、実験を通して理解しているとともに、科学的に探究するために必要な基礎操作や記録などの基本的な技能を身につけている。(知) 静電気と電流について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、静電気と電流の性質や規則性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。(思) 電流に関する現象について、見通しをもって解決する方法を立案して実験などを行い、その結果を分析して解釈し、電流のはたらきを理解して、電流と電圧の規則性や関係性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。(思) 電流と磁力線との関係、電流の磁気作用について見通しをもって観察、実験などを行い、実験結果を分析して解釈し、電流と磁界の関係性を見いだして表現するなど、科学的に探究している。(思)	○定期テストでの観点別の得点 ○観察・実験の技能、および取組状況 ○観察・実験のレポートへの記述内容 ○(授業中の)課題に対する取組状況 ○授業への取組状況 主体的に学習に取り組む態度 ○観察・実験における仮設設定 ○観察・実験への取組状況 (授業中の)課題に対する取組状況 ○授業への取組状況
1 学期 2 学期 3 学期	単元3 気象とその変化 第1章 気象の観測(16) 第2章 雲のでき方と前線(7) 第3章 大気の動きと日本の天気(10)	気象要素と天気の変化との関係に着目しながら、気象要素、気象観測、霧や雲の発生などについての基本的な概念や原理・などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。(知) 気象要素と天気の変化との関係に着目しながら、霧や雲の発生、前線の通過と天気の変化などについての基本的な原理・法則などを理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。(知) 気象要素と天気の変化との関係に着目しながら、日本の天気の特徴、大気の動きと海洋の影響、自然のめぐみと気象災害についての基本的な原理・法則などを理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。(知) 気象観測について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、天気の変化についての規則性や関係性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。(思) 天気の変化について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、天気の変化についての規則性や関係性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。(思) 日本の気象、自然のめぐみと気象災害について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、日本の気象についての規則性や関係性、天気の変化や日本の気象との関係性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。(思)	○定期テストでの観点別の得点 ○観察・実験の技能、および取組状況 ○観察・実験のレポートへの記述内容 ○(授業中の)課題に対する取組状況 ○授業への取組状況 主体的に学習に取り組む態度 ○観察・実験における仮設設定 ○観察・実験への取組状況 (授業中の)課題に対する取組状況 ○授業への取組状況

令和 5 年度 音楽科 第 2 学年 学習指導・評価計画

1 年間のねらい・到達目標

曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について、創意工夫を生かした実践的・体験的な活動を通して音楽に親しむとともに、よりよい音楽表現に必要な知識、技能を身に付ける。

2 指定教科書

音楽	二年	教科書名（出版社）	中学生の音楽 2・3 上 （教育芸術社） 音楽のおくりもの （教育出版）
		副教材	ミュージックノート（正進社） コーラスフェスティバル（正進社）

3 学習到達目標

- ・音楽に対する理解を深め、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付ける。
- ・音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。
- ・主体的・協働的に学習に取り組み、音楽の楽しさを体験することで、音楽文化に親しみ、生活を明るく豊かなものにする。
- ・日本で長く歌われ親しまれている歌曲や日本の伝統的な音楽に触れることによって、古くから受け継がれてきた日本の音楽のよさを味わい、愛着をもつ。

4 学習の進め方

- ・授業の進め方
教科書、ワークシートを用いて実践的・体験的な活動を中心に行うとともに、振り返りなどを記録に残す。
- ・思考力・判断力・表現力
表現活動と思考活動のサイクル学習と、話し合い活動による協働的な学習の両面で取り組む。
- ・望ましい家庭学習
授業での学習内容と、日頃の生活の中で親しむ音楽を関連付けて鑑賞したり、表現したりする。

5 評価計画

【評価基準】

観点別学習状況の評価		学習の実現状況
A	十分満足できる	80%以上
B	おおむね満足できる	50%以上
C	努力をようする	50%未満

【評定への配分】

観点	配分
知識・技能	1
思考・判断・表現	1
主体的に学習に取り組む態度	1

【評定基準】

評定		各評定の範囲
5	特に高い程度のもの	90%以上
4	十分満足できる	80%以上
3	おおむね満足できる	50%以上
2	努力をようする	20%以上
1	一層努力をようする	20%未満

6 補充学習・タブレットの活用

- ・補充学習 ワークシートの記入状況などを確認し、必要に応じて実施をする。
- ・タブレットの活用 必要に応じて活用し、表現活動、鑑賞活動に役立たせる。

7 年間指導・評価計画

学期	学習内容（時数）・項目	評価基準（到達目標）	評価の観点と方法
1 学期	オリエンテーションと声づくり（1） ・発声練習 ・校歌	（知）正しい発声法と、歌詞の意味を理解する。 （技）歌唱表現する基礎的な技能を身に付ける。 （思）曲にふさわしい歌唱表現を工夫する。	〈知識・技能〉 ・ワークシート ・定期考査 ・実技試験
	混声合唱へのステップ（2） ・変声期について ・夢の世界を ・翼をください ・夏の日の贈りもの	（知）曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解する。 （技）創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表す。 （思）どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	〈思考・判断・表現〉 ・ワークシート ・定期考査
	曲想と歌詞の内容との関わりを理解して、歌唱表現を工夫しよう（3） ・夏の思い出	（知）曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解する。 （技）創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表す。 （思）曲にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもつ。	〈主体的に学習に取り組む態度〉 ・ワークシート ・授業観察
	パイプオルガンの響きを味わおう（2） ・フーガ ト短調	（知）曲想と音楽の構造との関わりについて理解する。 （思）曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。	
	箏で旋律を創作しよう（3） ・楽器の種類と音色 ・リズム、音程、音階	（知）音階や言葉などの特徴及び音のつながり方の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解する。 （技）創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組合せなどの技能を身に付け、創作で表す。 （思）まとまりのある創作表現としてどのように表すかについて思いや意図をもつ。	
2 学期	箏で旋律を創作しよう（7） ・楽譜の書き方 ・リズム構成の理解 ・リズム表現	（知）音階や言葉などの特徴及び音のつながり方の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解する。 （技）創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組合せなどの技能を身に付け、創作で表す。 （思）まとまりのある創作表現としてどのように表すかについて思いや意図をもつ。	
	曲想と音楽の構造との関わりを理解して、その魅力を味わおう（2） ・交響曲第5番 ハ短調	（知）曲想と音楽の構造との関わりについて理解する。 （思）曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	
	日本の歌のよさや美しさを理解して、歌唱表現を工夫しよう（2） ・荒城の月	（知）曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解する。 （技）創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表す。 （思）曲にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもつ。	
	オペラの魅力を味わって聴こう（2） ・オペラ「アイダ」	（知）曲想と音楽の構造との関わりについて理解する。 （思）曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。	
3 学期	心を伝え合う合唱を求めて（11） ・合唱コンクールクラス合唱曲	（知）曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解する。 （技）創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付け、歌唱で表す。 （思）曲にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもつ。	

令和 5 年度 美術科 第 2 学年 学習指導・評価計画

1 年間のねらい・到達目標

美術作品や文化遺産など美しさや良さを感じ取ったり、主体的に美術活動に取り組み、制作の喜びを味わったりすることによって自分自身の生活を豊かにできる力を養う。

2 指定教科書

美術	2 年	教科書名（出版社）	日本文教出版
		副教材	・ ケント紙 ・ シナベニア ・ 鳥の子紙 ・ ピグメントライナー

3 学習到達目標

- ・ 対象や事象を捉える造形的な視点について理解する。
- ・ 主題に応じて表現方法を工夫して表すことができるようにする。
- ・ 自然の造形や美術作品などの造形的な美しさやよさ、表現の意図と工夫、機能性と美しさとの調和、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。
- ・ 楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく態度を養う。

4 学習の進め方

○主な授業の進め方

美術に関心を持ち、説明を聞いたり積極的に制作ができるようにする。また、自主的に準備や片付けができるようにする。

○思考力・判断力・表現力の育成方法

- ・ 主体的に描いたりつくったりする表現の幅広い活動を通して、思考力や判断力を育成する。
- ・ 自分の見方や感じ方を大切にしながら主体的に造形的なよさや美しさなどを感じ取り味わう鑑賞の能力を養うことで表現力を育成する。

5 評価計画

【評価基準】

観点別学習状況の評価		学習の実現状況
A	十分満足できる	80%以上
B	おおむね満足できる	50%以上
C	努力をようする	50%未満

【評定への配分】

観点	配分
知識・理解	1
思考・判断・表現	1
主体的に学習に取り組む態度	1

【評定基準】

評定		各評定の範囲
5	特に高い程度のもの	90%以上
4	十分満足できる	80%以上
3	おおむね満足できる	50%以上
2	努力をようする	20%以上
1	一層努力をようする	20%未満

6 補充学習・タブレットの活用

- ・ わからないことが質問できるような環境をつくり個別に対応する。また、昼休みや放課後などに補習授業を行う。
- ・ 名画や名作をより鮮明に映し出せるタブレットを用いて説明する。

7 年間指導・評価計画

学期	学習内容（時数）・項目	評価規準（到達目標）	評価の観点と方法
1 学期	・オリエンテーション（1） ・絵画【素描・光と影】	・形の規則性や連続性、構造などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、美しさや特徴、印象などを全体のイメージで捉えることを理解している。 ・身近な自然物などの特徴やイメージ、用いる場面などから主題を生み出し、形や色彩の構成を工夫したり、美的感覚を働かせて調和のとれた美しさなどを考えたり、表現する構想を練っている。 ・美術の創造活動の喜びを味わい楽しく自然物の特徴などを生かして模様をデザインするなど構成や装飾の目的や機能を考えて構想を練ったり、意図に応じて工夫し見通しを持って表したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。 ・自主的に準備、制作、片付けができる。	「知識・技能」 テスト、作品 「思考・判断・表現」 作品、アイディアスケッチ 「主体的に学習に取り組む態度」 テスト、観察、準備、片付け、忘れ物、提出期限
	・透視図：絵画、デザイン、鑑賞【一点透視図、二点透視図法】（4）	・構図や色彩が感情にもたらす効果や、線、彫りや摺りなどの特徴を基に、作品の印象などを全体のイメージや浮世絵の作風などで捉えることを理解している。 ・浮世絵の表現のよさや美しさを感じ取り、版画としての特性、制作者たちの意図と創造的な工夫などや美術文化の継承と創造について考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。 ・美術の創造活動の喜びを味わい主体的に浮世絵の表現のよさや美しさを感じ取り、版画としての特性、制作者たちの意図と創造的な工夫などや美術文化の継承と創造について考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	
	・立体感のある平面構成：デザイン ・色の三要素：絵画、デザイン（寒色・暖色・補色）	・絵の具の生かし方などを身に付け、意図に応じて工夫し、制作の順序などを考えながら見通しを持って表している。 ・伝えたい内容と分かりやすさの調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げている。 ・美術の創造活動の喜びを味わい楽しく伝えたい内容と分かりやすさとの調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を広げる鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	
	・平面構成の基本：絵画、デザイン ・静と動の平面構成 ・レタリングの練習（10）	・形の規則性や連続性、構造などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、美しさや特徴、印象などを全体のイメージで捉えることを理解している。 ・身近な自然物などの特徴やイメージ、用いる場面などから主題を生み出し、形や色彩の構成を工夫したり、美的感覚を働かせて調和のとれた美しさなどを考えたり、表現する構想を練っている。 ・美術の創造活動の喜びを味わい楽しく自然物の特徴などを生かして模様をデザインするなど構成や装飾の目的や機能を考えて構想を練ったり、意図に応じて工夫し見通しを持って表したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。	

2 学期	・木版画取材：地域撮影 ・木版画：工芸、彫刻、 絵画、鑑賞 (7)	・形や色彩などが感情にもたらす効果や、表情やしぐさなどを基に、生き物の印象などを全体のイメージで捉えることを理解している。 ・材料や用具などの特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表している。 ・構図や色彩、線などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴を基に、日本美術の作風や印象が西洋美術からどのように影響を受けているかを理解している。 ・生命感や躍動感、動物の特徴やイメージを基に主題を生み出し、形や色彩、材料などの効果を考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。 ・造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。 ・日本美術の表現の特色や美しさを感じ取り、作者の意図と創造的な工夫や美術を通した国際理解や美術文化の継承と創造について考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。 ・美術の創造活動の喜びを味わい主体的に動物の特徴やイメージなどを基に構想を練ったり、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。 ・美術の創造活動の喜びを味わい主体的に造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 ・美術の創造活動の喜びを味わい主体的にジャポニズムの表現の特色や美しさを感じ取り、作者の意図と創造的な工夫や美術を通した国際理解や美術文化の継承と創造について考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	「知識・技能」 テスト、作品、 「思考・判断・表現」 作品、アイディアスケッチ 「主体的に学習に取り組む態度」 テスト、観察、準備、片付け、忘れ物、 提出期限
3 学期	・白黒で表現するイラストレーション：絵画、鑑賞 (8)	・抽象絵画を通し、形や色彩、材料などの性質、それらが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、全体のイメージなどで捉えることを理解している。 ・動画の特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求して、制作の順序などを総合的に考えながら、見通しを持って創造的に表している。 ・目的や条件との調和のとれた洗練された美しさを感じ取り、見る人の立場、作者の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、心地よく生活するための視点から生活や社会を美しく豊かにする美術の働きについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。 ・伝えたい場面やイメージなどの調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。 ・美術の創造活動の喜びを味わい主体的に目的や条件との調和のとれた洗練された美しさを感じ取り、乗車する人の立場、作者の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、心地よく生活するための視点から生活や社会を美しく豊かにする美術の働きについて考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 ・美術の創造活動の喜びを味わい主体的に伝えたい場面やイメージなどの調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	「知識・技能」 テスト、作品、 「思考・判断・表現」 作品、アイディアスケッチ 「主体的に学習に取り組む態度」 テスト、観察、準備、片付け、忘れ物、 提出期限

--	--	--	--

令和 5 年度 保健体育科 第 2 学年 学習指導・評価計画

1 年間のねらい・到達目標

- ・各種目の運動の特性に応じた技能及び個人生活における健康・安全について理解するとともに基本的な技能を身に付ける
- ・運動や健康について課題を発見し解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う
- ・生涯運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく、豊かな生活を営む態度を養う。

2 指定教科書

保健 体育	2 年	教科書名（出版社）	中学校保健体育（大日本図書）
		副教材	中学保健学習ノート 1～3 年（正進社）

3 学習到達目標

- ・運動の特性や魅力、安全な行い方や体力の必要性などの知識を基に、心と体の健康増進に向けて基本的な技能を身につけることができる。
- ・自己の課題や解決策を考え判断し、他者に伝えることができる。
- ・競争や協働の経験を通して、公正に取り組むこと、互いに協力すること、自己の役割を果たすこと、お互いを認めることへの意欲と健康・安全に留意して最善を尽くすことができる。

4 学習の進め方

- ・授業規律（集合、整列、号令）などを大切にし、集団での行動を常に意識し、授業に取り組む。
- ・人と比べることではなく、以前の自分より「できる」ことを目的とする。
- ・自分と周りの安全に配慮する。
- ・思考力・判断力・表現力を高めるにはグループ学習やペア学習などによる話し合い活動を積極的に取り組み、学習カードによる授業の振り返りや技能の考察を丁寧に継続する。また、新聞、レポート、スピーチ、意見発表などによる表現活動を丁寧かつ、堂々とする。
- ・家庭学習の進め方については定期テスト前には、学習カードや保健授業を振り返り、各種目、各単元のルールやポイントを復習する。事前に与えられた自習課題を確実にを行い、知識を得た上で授業に臨むようにする。

5 評価計画

【評価基準】

観点別学習状況の評価		学習の実現状況
A	十分満足できる	80%以上
B	おおむね満足できる	50%以上
C	努力をようする	50%未満

【評定への配分】

観点	配分
知識・技能	1
思考・判断・表現	1
主体的に学習に取り組む態度	1

【評定基準】

評定		各評定の範囲
5	特に高い程度のもの	90%以上
4	十分満足できる	80%以上
3	おおむね満足できる	50%以上
2	努力をようする	20%以上
1	一層努力をようする	20%未満

6 補充学習・タブレットの活用

補充学習については、単元の区切りにプリントを配布。単元終了時に未計測種目などの再計測を実施する。タブレットの活用については、動画撮影により、自身のフォームを確認し改善する。見本となる生徒や番組の視聴。保健分野調べ学習の検索、発表資料作成を行う。

7 年間指導・評価計画

学期	学習内容（時数）・項目	評価規準（到達目標）	評価の観点と方法
1 学期	体づくり運動 ・体の動きを高める運動（3） ・表現活動、集団行動（3） 陸上競技 ・短距離走・リレー（5） ・走り高跳び・ハードル（6） 水泳 ・クロール・平泳ぎ（4） ・背泳ぎ・バタフライ（4）	ねらいや体力に合わせて運動を組み合わせている。 「思考・判断・表現」 集団に合わせて、素早く行動することができる。 「知識・技能」 滑らかな動きで速く走ることができる。「知識・技能」 スピードを生かしたバトン渡しができる。「知識・技能」 リズムカルな助走から力強く踏み切って大きな動作で跳ぶことができる。「知識・技能」 お互いの動作を分析して、適切な助言ができる。 「思考・判断・表現」 健康・安全に留意して取り組むことができる。 「思考・判断・表現」 特性に応じた泳法を身に付けている。「知識・技能」	<知識・技能> 授業観察 記録 スキルテスト 自習課題 学習カード 定期考査・単元テスト <思考力・表現力・判断力> 授業観察 学習カード 定期考査・単元テスト <主体的に学習に取り組む態度> 授業観察 提出物
2 学期	体づくり運動 体の動きを高める運動（4） 器械運動 ・マット（8） 球技（ゴール型） ・ラグビー（8） 球技（ネット型） ・バレーボール（8） ダンス ・創作ダンス（8） 保健分野 健康な生活と疾病の予防（6） 陸上競技 長距離走（6）	役割に応じた活動の仕方を身に付けている。（思考判断表現） 基本的技能を習得している。「知識・技能」 健康・安全に留意している。「思考・判断・表現」 健康・安全に留意している。集団行動を重んじている。 「思考・判断・表現」 勝敗などを認めルールやマナーを守ろうとしている。 「思考・判断・表現」 運動の行い方のポイントを身に付けている。「知識・技能」 分担した役割を果たそうとし、課題の解決を目指して、活動の仕方を考え、工夫している。「思考判断・表現」 基本的技能を習得している。「知識・技能」 ゲーム内で特性にあった動きをしている。「思考・判断・表現」 クラスの課題解決を目指して活動の仕方を考え、工夫している。 「思考・判断・表現」 リズムの特徴をとらえ全身で踊るための動きができる（知識・技能） 調べたことを基にそれらを説明している。「知識・技能」 理解したことを言ったり、書き出したりしている。 「思考・判断・表現」 ポイントを意識した動きで速く走ることが出来る。「知識・技能」 コーチ役としての役割を果たしている。「思考・判断・表現」	<知識・技能> 授業観察 記録 スキルテスト 自習課題 学習カード 定期考査・単元テスト <思考力・表現力・判断力> 授業観察 学習カード 定期考査・単元テスト <主体的に学習に取り組む態度> 授業観察

3学期	武道 ・柔道（7） 体育理論 ・運動やスポーツが心身の発達に与える効果と安全（3） 保健 ・傷害の防止（8） 球技（バレーボール型） ・バレーボール（7） （ゴール型） ・サッカー（7）	健康・安全に留意している。「思考・判断・表現」 相手の動きに応じた基本動作から、基本となる技ができる。「知識・技能」 理解したことについて言ったり書き出したりしている。「思考・判断・表現」 出された意見や集めた情報をまとめている。「知識・技能」 調べたことを基にそれらを説明している。「思考・判断・表現」 分担した役割を果たそうとし、課題の解決を目指して、活動の仕方を考え、工夫している。「思考・判断・表現」 基本的技能を習得している。「知識・技能」 ゲーム内で特性にあった動きをしている。「知識・技能」	<知識・技能> 授業観察 記録 スキルテスト 自習課題 学習カード 定期考査・単元テスト <思考力・表現力・判断力> 授業観察 学習カード 定期考査・単元テスト <主体的に学習に取り組む態度> 授業観察 提出物
-----	---	--	--

令和 5 年度 技術科 第 2 学年 学習指導・評価計画

1 年間のねらい・到達目標

日常生活で活用している技術を理解し、適切な方法で作成、活用できる力を育むため、今年度は材料とエネルギー変換の技術、および情報に関する課題の設定や計測・制御システムについて理解し、適切に扱うことができる。

2 指定教科書

教科名	学年	教科書名（出版社）	技術・家庭 技術分野 開隆堂
		副教材	力の伝達を学ぶキット

3 学習到達目標

- ・エネルギー資源の種類や、社会で利用されるための技術の仕組みを知る。
- ・私たちが利用している電源の種類や特徴を知り、他のエネルギーに変換する仕組みを理解する。
- ・計測・制御システムを里香氏、安全・適切なプログラムの制作・動作及び確認ができる。

4 学習の進め方

- ・授業の進め方
教科書、資料集を用いた講義式の授業で進める。
- ・思考力・判断力・表現力の育成方法
ワークシートに、自分の考えを記入し、課題によっては周りの人と話し合いの時間を設ける。
他の人の考えを確認することで、自分の考えを深めていく。
- ・望ましい家庭学習
授業の中で課題を提示するので、家庭生活の中で考える。

5 評価計画

【評価基準】

観点別学習状況の評価		学習の実現状況
A	十分満足できる	80%以上
B	おおむね満足できる	50%以上
C	努力をようする	50%未満

【評定への配分】

観点	配分
知識・技能	1
思考・判断・表現	1
主体的に学習に取り組む態度	1

【評定基準】

評定		各評定の範囲
5	特に高い程度のもの	90%以上
4	十分満足できる	80%以上
3	おおむね満足できる	50%以上
2	努力をようする	20%以上
1	一層努力をようする	20%未満

6 補充学習・タブレットの活用

- ・補充学習 ワークシートの記入状況などを確認し、遅れを感じる生徒には必要に応じて実施をする。
- ・タブレットの活用 常備させ、授業の中で気になったことを調べさせる時間を設ける。

7 年間指導・評価計画

学期	学習内容（時数）・項目	評価規準（到達目標）	評価の観点と方法
1 学期	技術科オリエンテーション（1） 生活や社会を支えるエネルギー変換の技術（11） ・エネルギーの姿（1） ・発電の仕組みと特徴（3） ・日本の電源構成比を考える（5） ・電気エネルギーの特徴（1） ・電気を供給する仕組み（1）	「知識・技能」 ・エネルギーが社会で利用されるために必要な変換や輸送を理解できる。 ・電気エネルギーの種類や特徴について理解できる。 「思考・判断・表現」 ・電気エネルギーの使用に関する問題点を見出して解決策を構想し、考察できる。 ・電気機器の定格について起こり得る課題を見出して、解決策を構想し考察できる。	〈知識・技能〉 作品 ワークシート 定期考査 〈思考力・判断力・表現力〉 ワークシート 〈主体的に学習に取り組む態度〉 作品 行動記録 ワークシート
2 学期	生活や社会を支えるエネルギー変換の技術（15） ・電気回路（2） ・電気機器を安全に使用するための技術（1） ・問題の発見、課題の設定（1） ・「機構」の設計・制作（10） 未来テック 電子部品の役割や特徴 身近な問題から課題の設定 ・問題解決の評価、改善、修正（1）	「知識・技能」 ・電気機器の保守・点検について理解できる。 ・電気機器の構成を知り、適切な工具を用いて製作する技能を持っている。 「思考・判断・表現」 ・電気機器の保守と点検について問題点を見出して解決策を構想し、考察できる。 ・電気機器の構成を適切に判断し、製作に関して起こりうる課題を見だし解決策を構想し、考察できる。	
3 学期	情報に関する技術（9） ・計測制御のプログラミングによる問題解決（9） 計測・制御システム 問題の発見と課題の設定 計測・制御システムの構想 計測・制御システムのプログラムの構想 問題解決の評価、改善・修正	「知識・技能」 ・計測・制御システムの仕組みを理解できる。 ・プログラミングを利用した問題解決の手順を理解できる。 「思考・判断・表現」 ・問題解を見出し課題を設定し解決する力を育成する。 ・問題解決の手段としてプログラミングによる解決策を構想し、考察できる。	

令和 5 年度 家庭科 第 2 学年 学習指導・評価計画

1 年間のねらい・到達目標

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を身に付ける。

2 指定教科書

家庭科	2 年	教科書名（出版社）	技術・家庭 家庭分野
		副教材	ワークノート 衣生活・住生活（地域教材社） ティッシュ BOX ケースの製作（優良教材） 新 家庭科資料（新学社）

3 学習到達目標

- ・家族・家庭の基本的な機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。【知識・技能】
- ・これからの生活を展望し、家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。【思考・判断・表現】
- ・家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。【主体的に学習に取り組む態度】

4 学習の進め方

○授業の進め方

本時のねらいを明確にし、見通しをもたせた授業展開とする。デジタル教材、視覚的資料を用いて、基礎・基本の定着を目指す。実習では、安全に取り組むことが大切であり、実生活において活用できる力を身に付ける。

○思考・判断・表現

ワークシートに、自分の考えを記入した後、周りの人と話し合いをする時間を設ける。他の人の考えを聞き書くことで、自分の考えを深めていく。

○望ましい家庭学習

授業での学びを自分の生活の中で活用し、よりよい生活の実現を目指す。

5 評価計画

【評価基準】

【評定への配分】

【評定基準】

観点別学習状況の評価		学習の実現状況
A	十分満足できる	80%以上
B	おおむね満足できる	50%以上
C	努力をようする	50%未満

観点	配分
知識・技能	1
思考・判断・表現	1
主体的に学習に取り組む態度	1

評定		各評定の範囲
5	特に高い程度のもの	90%以上
4	十分満足できる	80%以上
3	おおむね満足できる	50%以上
2	努力をようする	20%以上
1	一層努力をようする	20%未満

6 補充学習・タブレットの活用

- ・補充学習 ワークシートの記入状況などを確認し、必要に応じて実施をする。
- ・タブレットの活用 常備させ、授業の中で気になったことを調べさせる時間を設ける。

7 年間指導・評価計画

学期	学習内容（時数）・項目	評価規準（到達目標）	評価の観点と方法
1 学期	B 衣食住の生活＜衣生活＞（12） 1 目的に応じた衣服の選択 ・自分らしくコーディネート ・つなげよう和服の文化 ・上手な衣服の選択 2 日常着の手入れと保管 ・衣服の手入れ ・布の繊維に応じた手入れ ・洗濯について ・補修や収納・保管	＜知識・理解＞ ・衣服と社会生活のとの関わりが分かり、目的に応じた着用、個性を生かす着用および衣服の適切な選択について理解している。 ・衣服の計画的な活用必要性、衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについて理解しているとともに、適切にできる。 ＜思考・判断・表現＞ ・衣服の選択、材料や状態に応じた日常着の手入れの仕方について問題を見いだして課題を設定している。解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして、課題を解決する力を身に付けている。	＜知識・技能＞ 定期考査 ワークシート 作品 ＜思考力・判断力・表現力＞ 定期考査 ワークシート ＜主体的に学習に取り組む態度＞ 行動記録 ワークシート
2 学期	3 生活を豊かにするものの製作（7） ・ティッシュ BOX ケースの製作 4 持続可能な衣生活 A 家族・家庭生活（9） 2 幼児の生活と家族 ・幼児の体の特徴 ・幼児の心の特徴 ・発達にとってのおとなの役割 ・遊びが必要なわけ ・おもちゃの製作 ・遊びを支える環境 3 幼児とのかかわり ・子どもの成長と地域 ・持続可能な家庭生活	＜知識・理解＞ ・製作する物に適した材料や縫い方について理解している。用具を安全に取り扱い、製作が適切にできる。 ＜思考・判断・表現＞ ・資源や環境に配慮し、生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画や製作について問題を見いだして課題を設定している。解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 ＜知識・技能＞ ・幼児の身体の発達の特徴について理解している。 ・幼児の心の発達の特徴について理解している。 ・子どもが育つ環境としての家族の役割について理解している。 ・幼児にとっての遊びの意義について理解している。 ＜思考・判断・表現＞ ・幼児との関わり方について問題を見いだして課題を設定している。 ・幼児との関わりについて課題を設定し、解決策を構想し、考察したことを論理的に表現している。	
3 学期	4 家庭生活と地域のかかわり（7） ・家庭生活と地域での活動 ・多様な人々が暮らす地域 ・地域に暮らす高齢者 ・介助体験 ・高齢者とのかかわり	＜知識・技能＞ ・家族や地域の人々と協力・協働して家庭生活を営む必要があることに気付いている。 ・家族の互いの立場や役割が分かり、協力することによって家族関係をよりよくできることについて理解している。 ・家庭生活は地域との相互の関わりで成り立っていることが分かり、高齢者など地域の人々と協働する必要があることや介護など高齢者との関わり方について理解している。 ＜思考・判断・表現＞ ・家族関係をよりよくする方法及び高齢者など地域の人々と関わり、協働する方法について問題を見いだすことができる。課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	

令和 5 年度 英語科 第 2 学年 学習指導・評価計画

1 年間ねらい・到達目標

英語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成する。

2 指定教科書

英語	2 年	教科書名（出版社）	Here We GO! ENGLISH COURSE2（光村図書）
		副教材	エイゴラボ 2 （正進社）

3 学習到達目標

- (1) 聞くこと： はっきりと話されれば、日常的な話題について、話の概要を捉えることができる。
- (2) 読むこと： 日常的な話題について、簡単な語句や分で書かれた短い文章の概要を捉えることができる。
- (3) 話すこと[やり取り]：
日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができる。
- (4) 話すこと[発表]：
日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができる。
- (5) 書くこと：
日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書くことができる。

4 学習の進め方

○主な授業の進め方

- 教科書をベースに「聞く」「読む」「話す（やり取り）」「話す（発表）」「書く」の 4 技能 5 領域をバランスよく伸ばす活動を行う。

○思考力・判断力・表現力の育成方法

- 学習した内容をふまえて、自己表現活動、発表活動、課題解決的な活動を行う。
- ペアやグループでのやりとりで学び合いの機会を設定する。
- 外国人教師（ALT）との会話の機会を設定し、実践的なコミュニケーション能力の向上を図る。

○望ましい家庭学習

- 予習よりも復習や宿題にしっかり取り組む。特に宿題は期日を意識しながら取り組ませる。
- 復習として、教科書の音読、単語の発音・スペリング、ノート作り、ワークの取り組み。単元テストまでにノート作り、ワーク、e ライブラリを完了させる。

5 評価計画

【評価基準】

【評定への配分】

【評定基準】

観点別学習状況の評価		学習の実現状況
A	十分満足できる	80%以上
B	おおむね満足できる	50%以上
C	努力をようする	50%未満

観点	配分
知識・技能	1
思考・判断・表現	1
主体的に学習に取り組む態度	1

評定		各評定の範囲
5	特に高い程度のもの	90%以上
4	十分満足できる	80%以上
3	おおむね満足できる	50%以上
2	努力をようする	20%以上
1	一層努力をようする	20%未満

6 補充学習・タブレットの活用

- 単元テスト後や小テスト後に、解きなおしの取り組みを行う。
- e ライブラリを用いて基礎学力が定着しているか確認する。
- プレゼンテーションの活動の際に、調べ物の検索や表示したい画像の検索を行う。

7 年間指導・評価計画

学期	学習内容（時数）・項目	評価基準（到達目標）	評価の観点と方法
1 学期	Unit1 Hajin' s Diary (12)	<知識・技能> 動詞の過去形, 過去進行形, 接続詞 when の構文について正確に理解している。 <思考・判断・表現> 登場人物のある日の出来事を知るために, その人物の日記から出来事や感想を読み取り, 適切に理解している。	<知識・技能> <知識・技能> 定期テスト 単元テスト パフォーマンステスト <思考・判断・表現> 定期テスト 単元テスト パフォーマンステスト <主体的に取り組む態度> 定期テスト 単元テスト パフォーマンステスト 授業中の活動 振り返りシート ワークシート 提出物 行動記録
	Unit2 Basketball Tournament (12)	<知識・技能> 動名詞, 不定詞の名詞的用法, I think (that) ～. について正確に理解している。 <思考・判断・表現> 最近何かで活躍した生徒について知るために, インタビューからその生徒の好きなことやしたいことなどの必要な情報を聞き取り, 適切に理解している。	
	Daily Life1 電話 (3)	<知識・技能> Can you ～? という言い方や電話特有の表現について正確に理解している。 Can you ～? という言い方や電話特有の表現を使って, 電話で何かを頼んだり応じたりするやり取りをすることができる。	
	Unit3 Plans for the Summer(12)	<知識・技能> be going to, 助動詞 will, 接続詞 if の構文について正確に理解している。 <思考・判断・表現> 登場人物の考えを知るために, メールからその人物の予定や希望などの必要な情報を聞き取り, 適切に理解している。	
	Daily Life2 アナウンス(1)	<知識・技能> 空港や機内のアナウンスから, 時刻や場所などの情報を聞き取ることができる。	
	Let' s Read1 Sukh' s White Horse(4)	<知識・技能> 動詞の過去形や助動詞 will, 接続詞 when, 接続詞 if などの用法について正確に理解している。 物語から, どのような出来事が起こったかを読み取ることができる。 <思考・判断・表現> 物語のあらすじを理解するために, 時を表す語句や人物の行動に注意して読み, 出来事の経過を捉えている。	
	World Tour1 いろいろな単位(1)	<知識・技能> 会話から, 気温・長さ・液量・値段を正確に聞き取ることができる。 <思考・判断・表現> 自分の予想が当たっているかどうか確かめるために, 必要な情報を聞き取り, 適切に理解している。	
	You Can Do It!1 (3)	<知識・理解> 交換留学生の自己紹介文から, 趣味や好きなこと, したいことなどの内容を読み取ることができる。 <思考・判断・表現> 2 人の交換留学生がいっしょに楽しむことができる観光プランを, 見どころとそこをすすめる理由などを整理して発表している。	
2 学期	Daily Life3 レストラン(3)	<知識・技能> Shall I ～? や Would you like ～? や Will you ～? という言い方を使って, 飲食店で注文したり何かを依頼したりするやり取りをすることができる。	<知識・技能> 定期テスト 単元テスト パフォーマンステスト <思考・判断・表現> 定期テスト 単元テスト パフォーマンステスト <主体的に取り組む態度> 定期テスト 単元テスト パフォーマンステスト 授業中の活動 振り返りシート ワークシート 提出物 行動記録
	Unit4 Tour in New York City(12)	<知識・技能> There is ～. や <S+V+O+O>, 不定詞の形容詞的用法について正確に理解している。 <思考・判断・表現> 先生の興味・関心に合うように, ニューヨークでおすすめの場所やそこで体験できることなどの情報を整理し, まとまりのある観光プランを発表している。	
	Daily Life4 道案内(1)	<知識・技能> Could you ～? や how で始まる疑問文を使って, 行き方をたずねたり教えたりする道案内のやり取りをすることができる。	
	Unit5 Earthquake Drill (12)	<知識・技能> have to ～や助動詞 must, should を使った言い方について正確に理解している。 <思考・判断・表現> 防災バッグに入れるべきものについて知るために, 品物の説明から必要な情報	

		を聞き取り、適切に理解している。	
	Daily Life5 イベントのお知らせ(1)	<知識・技能> 不定詞の形容詞的用法, have to ～, 助動詞 should を使った言い方について正確に理解している。 複数の掲示物からイベントの日時や内容を読み取り, 条件に合うイベントを選ぶことができる。	
	Daily Life6 体調不良(3)	<知識・技能> You look ～. や症状を言うときの表現, 助動詞 should を使って, 体調をたずねたり助言をしたりするやり取りができる。	
	Unit 6 Work Experience (12)	<知識・技能> 不定詞の副詞的用法や接続詞 because の構文について正確に理解している。 <思考・判断・表現> 職場体験の様子を伝えるために, 自分が体験したことや感想を, まとまりのある文章でレポートに書いている。	
	Let's Read2 Meet Hanyu Yuzuru (3)	<知識・技能> 接続詞 when, because, that や不定詞などの用法について正確に理解している。 <思考・判断・表現> 羽生選手の経歴や思いを知るために, インタビュー記事の概要を捉えている。	
	World Tour2 世界を舞台に働く人 (2)	<知識・技能> 接続詞 when, that や不定詞の用法について正確に理解している。 <思考・判断・表現> 写真の順序に合う文章にするために, 説明文からおおまかな内容を読み取り, 文章の流れを捉えている。	
	You Can Do It! 2 (3)	<知識・技能> 職業についてのコメントから, その職業の楽しいところや大変なところなどの内容を読み取ることができる。 <思考・判断・表現> 自分や相手に合う職業を診断するために, 日常生活や将来に関する好みや考えなどについて, 適切に相手の質問に答えたり, 相手の答えに応じて質問したりしている。	
3学期	Unit7 Amazing Australia (12)	<知識・技能> 形容詞の比較級, 最上級, as ～ as の構文について正確に理解している。 <思考・判断・表現> オーストラリアの名所とその特色を知るために, 観光紹介の記事から必要な情報を読み取り, 適切に理解している。	<知識・技能> 定期テスト 単元テスト パフォーマンステスト <思考・判断・表現> 定期テスト 単元テスト パフォーマンステスト <主体的に取り組む態度> 定期テスト 単元テスト パフォーマンステスト
	Daily Life7 観光案内 (2)	<知識・技能> 形容詞の最上級, 同等比較 (as ～ as ...), 接続詞 if, There is ～. の構文などについて正確に理解している。 観光地の音声案内から, 説明されている観光地にあるものやその特徴などの情報を聞き取ることができる。	パフォーマンステスト <主体的に取り組む態度> 定期テスト 単元テスト パフォーマンステスト
	Unit8 Staging a Musical (12)	<知識・技能> 受け身, <S+V+O+C>, <want+人+不定詞>の構文について正確に理解している。 <思考・判断・表現> Eri が大好きなミュージカルについて知るために, 学級新聞の記事から作品紹介のおおまかな内容を読み取り, 適切に理解している。	パフォーマンステスト 授業中の活動 振り返りシート ワークシート 提出物 行動記録
	Daily Life8 音声ガイド(1)	<知識・技能> 音声ガイドから, 作者や描かれているものについての説明を聞き取ることができる。	

Let' s Read3 Emoji-From Japan to the World (4)	<知識・技能> 受け身の文や接続詞 because や助動詞 should などの用法について正確に理解している。 <思考・判断・表現> 身近なコミュニケーションツールである絵文字について考えを深めるために、文章構成を理解し、段落の要点を読み取りながら、説明文の概要を捉えている。	
World Tour3 世界遺産めぐり (1)	<知識・技能> 受け身の文や比較表現について正確に理解している。 <思考・判断・表現> 自分が予想した場所が合っているかどうかを確かめるために、必要な情報を聞き取り、適切に理解している。	
You Can Do It!3 (3)	<知識・技能> インタビューから、旅行者が話題にしているものの特徴や用途などの内容を聞き取ることができる。 紹介するものの特徴や、どんなときに使われるかなどを話すことができる。 <思考・判断・表現> 選んだもののおもしろさを伝えるために、紹介するものの特徴や用途、おもしろいと思うポイントを整理してクイズを出している。	
Let' s Read More1 The Statue of Liberty (2)	<知識・技能> there is の構文、不定詞、接続詞 if などの用法について正確に理解している。 <思考・判断・表現> 自由の女神像の歴史や見どころなどについて知るために、紹介文のおおまかな内容や語句を手がかりにして、必要な情報を読み取っている。	
Let' s Read More2 Aboriginal Art (3)	<知識・技能> 紹介文から、アボリジナル・アートが生まれた背景やその特徴などを読み取ることができる。 <思考・判断・表現> アボリジナル・アートの歴史や特徴について知るために、紹介文の概要を捉えている。	